

令和2年度

人間生活学研究科(博士後期課程)

出題の意図・解答のポイント

令和元年8月31日

高知県立大学大学院

外国語（英語）

[1] 次の英文を和訳しなさい。

【出題の意図】

大学院博士後期課程において必要となる英語専門雑誌の内容を理解するための英語読解力をみる。

【解答のポイント】

以下の点が正しく読解でき、適切に訳出されていること。

- ・フィンランドとスウェーデンにおいて高齢者に対する家族ケアの共通点と相違点
- ・（家族の）介護をすることが介護者の所得やキャリアに及ぼす影響

[2] 次の英文を和訳しなさい。

【出題の意図】

大学院博士後期課程において必要となる英語専門雑誌の内容を理解するための英語読解力をみる。

【解答のポイント】

以下の点が正しく読解でき、適切に訳出されていること。

- ・社会科学、行動科学、保健科学で使用されている“evidenced-based practice”の概念
- ・“evidenced-based practice”とソーシャルワークとの関連

[3] 次の英文を和訳しなさい。

【出題の意図】

大学院博士後期課程において必要となる英語専門雑誌の内容を理解するための英語読解力をみる。

【解答のポイント】

以下の点が正しく読解でき、適切に訳出されていること。

- ・“telemedicine”の内容と可能性について

[4] 次の英文を和訳しなさい。

【出題の意図】

大学院博士後期課程において必要となる英語専門雑誌の内容を理解するための英語読解力をみる。

【解答のポイント】

以下の点が正しく読解でき、適切に訳出されていること。

- ・ 遺伝学を用いた生物学研究の現状について
- ・ 遺伝学を用いた臨床薬理学の可能性について

領域専門試験（社会福祉学領域）

【問】

今日の社会福祉領域の実践の中で、関連する地域の諸分野（福祉をはじめ医療、保健、教育など）の専門職との連携が重視されている。そこで、実践の中で、地域の専門職との連携がどのようにおこなわれて効果をあげているか、また、どのような問題点を抱えているかについて、具体例をあげて説明しなさい。なお、自分がかかわっている分野（児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉、医療福祉、地域福祉など）に限定して論じてもかまいません。

【出題の意図】

社会福祉の現場にいる社会福祉士や精神保健福祉士であれば、何らかの形で地域の諸分野の専門職との連携をおこなっている。今日の社会福祉領域では、その地域の在り方や他の専門職との連携を考えながら実践することが重要である。そこで、社会福祉の現場で地域の特性や他分野の専門職との連携について正確に理解しているかをみる。

【解答のポイント】

社会福祉領域と地域における諸分野の専門職の連携の基本的な方法に加え、それぞれの工夫、その効果や問題点について論述していること。あるいは、特定の領域や分野での他分野の専門職との連携について具体的に論述していること。